



とっさの時に行動できる安全教育を

5月24日(火)古牧公民館にて「学校と地域で子どもの安全を守る古牧地区連絡会」が開かれました。

これは、子供を守る取り組みについて古牧地区の小・中学校5校と和田交番、住民自治協議会の関係部会が連携し情報を共有するための連絡会です。古牧12地区から区長ら30名余りが参加しました。

例年70名ほどが参加する連絡会ですが、ソーシャルディスタンスを考慮し、参加者を半分に減らし開催されました。

和田交番岩下一夫所長からは、不審者対策訓練中に萎縮して行動できない子供が多いとのことのお話でした。子供が犯罪に遭う機会を減らすためには、とっさの時に行動出来る気持ちが大切で「日頃の訓練を通して大声を出すことやブザーを鳴

らすことに慣れることが重要」とのことでした。

小・中学校の取組

みは「交通安全・不審者対応・SNS対策」を軸に生徒、保護者に正しい知識を伝え、子供たちの安全に対する意識の向上に努めていました。

安全教育活動はここ数年自粛傾向にあるようですが、学校側から「今年度は様子を見ながら活動を広げ指導に取り組みたい」との話があり、さらなる教育の充実に期待を持たれた連絡会でした。

(防犯部)



あいさつは心の鍵です～あいさつ運動～

古牧地区あいさつ運動が12地区で5月9日から5月20日まで行われました。

コロナ禍で3年ぶりに実施とな



った地区もありました。あいさつ運動ってなんだろうと戸惑い顔の児童達も最終日には慣れた様子で元気にあいさつが返ってきました。

学校の先生からも、地区の皆さんのお陰であいさつが段々できるようになりましたと感謝の言葉をいただいた地区もありました。

(青少年育成部)

力を合わせて! 3神社御柱祭

古牧地区の和世田神社(東和田)、和田神社(西和田)、長池神社(南長池)で御柱祭が行われました。

御柱祭は、干支の寅年と申年の年に行われ、今年は寅年に当たります。

3地区では、昨年より御柱祭を行う委員会が準備してきました。今回は、コロナ禍の中で

したが、感染対策を徹底し、参加者を縮小するなど工夫を凝らしての御柱祭となりました。

各神社には無事に立派な御柱が建立され、地域の伝統行事が守られました。

(田中広報部員、中澤広報部員、北村広報通信員)

3神社御柱写真は2面に

4月17日

東和田
和世田神社



4月24日

西和田
和田神社



5月3日

南長池
長池神社



娑婆鉛筆 我が家のイチゴ

我が家の庭に植えてある10株ほどのイチゴが今年も実をつけ始めました。

小さな庭に趣味として植え始めてから6年ほどになります。露地栽培ですので五月の下旬ごろに実を付け始め1日に4~5粒ほど赤く食べごろになり5月いっぱいまで終了します。短い期間ですが、いちごの収穫の頃は二十四節気の小満にあたりすべてのものが次第に成長し、天地に満ち始める頃にふさわしく、よく晴れ渡った清々しい気候が続きました。イチゴをみると一安心ほっとします。

我が家のイチゴの品種は昭和30年代に品種開発された宝交早生で栽培がそれほど難しく無く家庭菜園向きですが園芸店に出回るのはまれで、たまたま見つけてラッキーと思い購入しました。

けっこう草っぽい香りがして酸味が強く野性味がしてスーパーのイチゴとは違った趣きがあります。

イチゴの手入れをしているとイチゴは野菜なのか果物なのかと考えが膨らみインターネットで調べてみると、木の実が果物、草の実が野菜と分類するそうなので草本性であるイチゴは野菜。また、農林水産省の作物の統計調査でも野菜に含まれるようです。ただし実際は果物と同じように食べられていることから「果実的野菜」とも呼ばれています。このようなことを調べるのも楽しみのひとつです。

(大須賀 隆)



古牧地区の世帯数と人口

令和4年5月1日現在

11,761世帯

(男 13,128人

26,580人

女 13,452人)

■発行所 古牧地区住民自治協議会
(電話259-8359・FAX219-1057)
(E-mail:komaki@vivid.ocn.ne.jp)

■発行者 塩入 茂
■編集 ぶらネットこまき編集委員会
■印刷 SR



HP
ご覧ください